

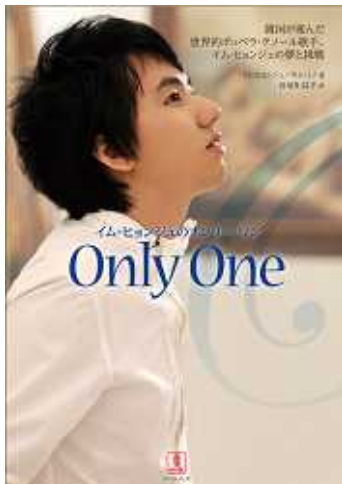


『オンリー・ワン』

Only one

韓国が生んだ天才ポップセラ・テノール歌手イム・ヒョンジュ

この夢と挑戦



韓国が生んだ天才ポップセラ・テノール歌手、イム・ヒョンジュの自伝『オンリー・ワン』がバベルプレスより発売。

「ポップス」と「オペラ」からできた造語「ポップセラ」。聞きなれないことばですが、サラ・ブライトマンや天使の歌声で知られるシャルロット・チャーチ、または秋川雅史の『千の風になって』のジャンルといえ、お分かりでしょう。

本書は、このポップセラ界の若きスター、韓国出身のイム・ヒョンジュがまだ20歳になる前に書いた自叙伝です。

韓国が生んだ天才ポップセラ・テノール歌手イム・ヒョンジュのユニークな生き方と考え方、そして母親であり彼を陰ながら支えているキム・ミノ氏の型破りな子育て論が特徴の本書は、一人のアーティストのサクセス・ストーリーとしてだけでなく、アーティストとして又は人として、タイトルのように『オンリー・ワン』になるために何が必要かを探る良い手本となるでしょう。

はじめてイム・ヒョンジュを知った方でも、魅力あふれる彼に興味を抱き、そのすばらしい歌声を聴いてみたいと思うはずです。本書では、イム・ヒョンジュの独特な世界にたっぷりと浸ってみてください。

発売日：2010年8月12日

定価：1,800円+税

著者：イム・ヒョンジュ / キム・ミノ

訳者：長尾知真子

出版社：株式会社バベル(バベルプレス)

判型：21.5cm x 17cm

頁：304ページ

【目次】

[1]君は本当に美しい愛国歌を歌ったね

- ・真剣に願えば夢はかなう
- ・ボーイ・ソプラノからハイ・テノールに変わった声
- ・優等生と問題児、その境界線を行ったり来たり
- ・胎教にもいい、子どもの感受性をぐっと育てるクラシック

[2]神さま、これは本当に私に起こったことなのですか？

- ・そう、世界は広く、井の中は狭い
- ・審査委員席から湧き起こる拍手
- ・本当のアーティストになるうとするなら「貧乏」や「苦勞」までも経験しなければいけません
- ・憂鬱なときに聴くと気分が爽快になるクラシック

[3]サリー・ガーデンに銀色の雨が降る

- ・「大韓民国のイム・ヒョンジュ」
- ・立ち見でもいいです。入れてください。
- ・『恋しい』を恋がるある死刑囚
- ・私は喜んで三流音楽家になって泣くだろう

[4]これからも歌い続ける私

- ・大衆を目指す21世紀型クラシック、ポップセラ
- ・1,004名の目の見えない人たちに希望を
- ・本を人生の指導教師に、映画を人生の案内人に
- ・クリスマス・シーズンに聴くと幸せになるキャロル

【著者紹介】イム・ヒョンジュ

早くからクラシック界の“神童”と称されたイム・ヒョンジュ。世界に活躍の場を広げるため単身アメリカへ渡ります。そこで出会った音楽関係者たちに『天上の声』と賛美されました。

ジュリアード音楽院予備学校に審査員満場一致で合格し、伝統あるクラシックから新しいジャンルのポップセラにのめりこんでいきます。2003年、盧(ノ)武鉉(ムヒョン)大統領の就任式で『愛国歌』独唱。韓国国内だけではなく世界中に大きな反響を呼びました。カーネギー・ホールでのデビューを皮切りに、平和コンサートなどの大きな舞台で活躍。現在ではヨーロッパの国々でもコンサートを開くなど、精力的な活動を行なっています。

【本件に関する問い合わせはこちら】

TEL：03-5211-3727 email:press@babel.co.jp

(担当：藪下)バベルプレス(株式会社バベル)HP：<http://www.egaiasyoten.com/>